

経営比較分析表（令和4年度決算）

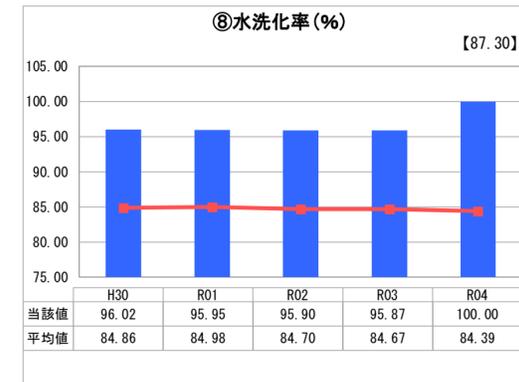
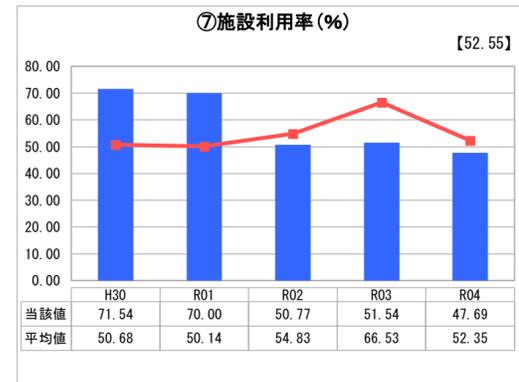
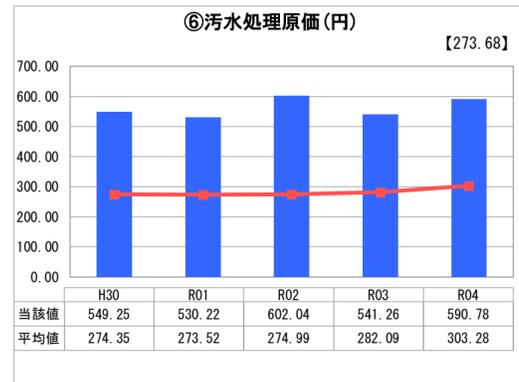
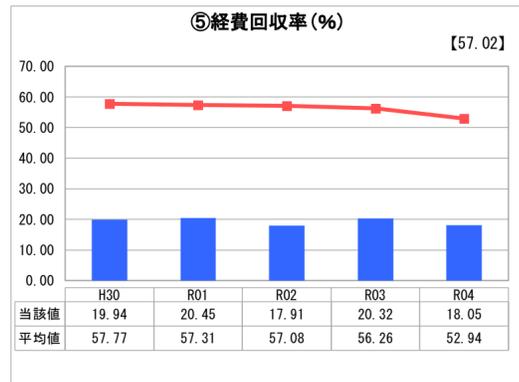
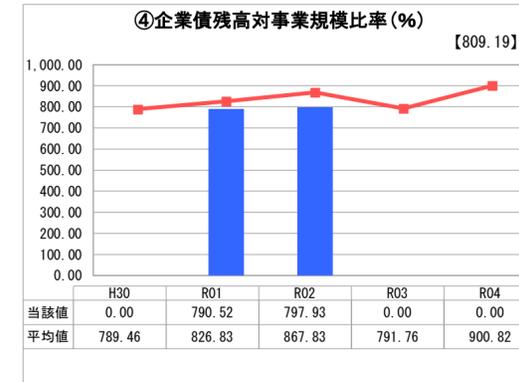
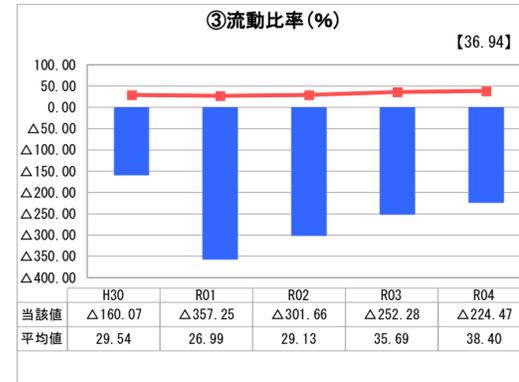
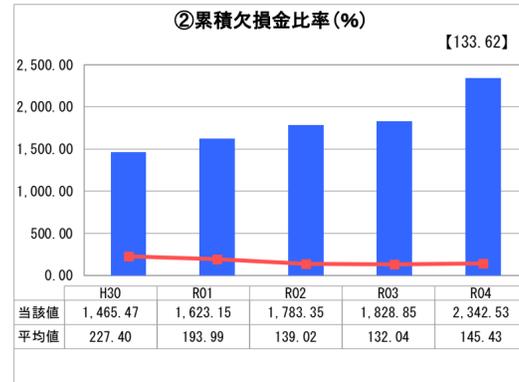
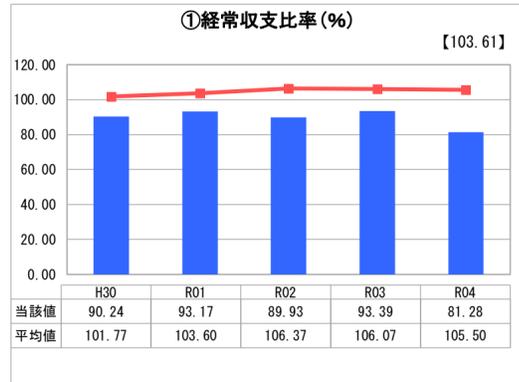
神奈川県 相模原市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	63.18	0.03	100.00	2,036

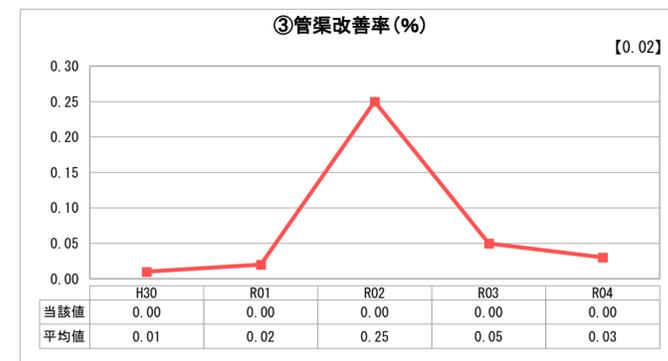
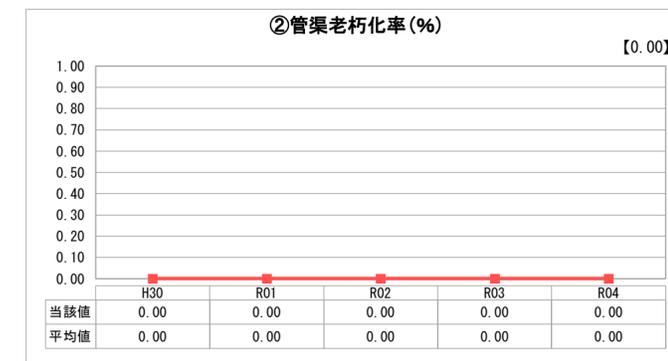
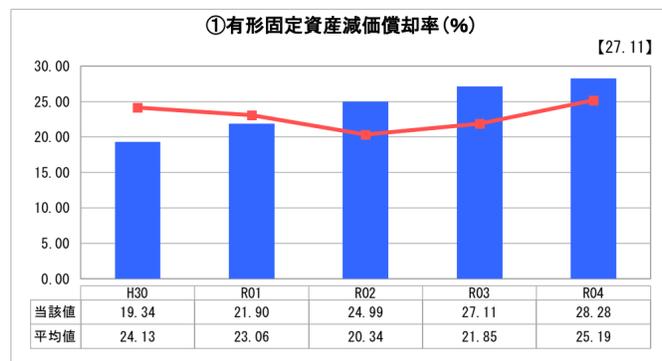
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
719,118	328.91	2,186.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
237	0.08	2,962.50

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率及び⑤経費回収率は、事業規模が小さく維持管理費が割高であることから、低率となっているが、本市では、生活排水処理という同じ目的の行政サービスであることから、公共下水道事業及び市設置高度処理型浄化槽事業と同一の会計としており、全体の収支は概ね均衡している。

⑦施設利用率は、令和2年度以降、50%程度で推移していることから、計画処理能力や耐用年数を踏まえ、近隣施設との統合等を進める必要がある。

⑧水洗化率は、施設整備が完了していることから、類似団体平均と比べ高い水準となっている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②管渠老朽化率及び③管渠改善率ともに、本事業が平成8年度より供用開始したことから、標準耐用年数に近い資産が少ないため低い水準となっている。

全体総括

本事業は農業集落における水源環境の保全を目的としているが、本事業の収支が下水道事業会計の負担にならないよう、今後、老朽化する施設に対して、効率的な点検・調査手法を確立するとともに、状態の把握、評価及び中長期的な状態を予測しながら改築や修繕を実施する。

また、処理場の更新の際は、費用対効果を検証し、公共下水道への統合等を検討する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。